

寮生からのメッセージ

同じ目標を持つ仲間と、競い合える環境が学力向上の鍵！

入学校 東京大学(理科二類)



草野 優希さん
(宮崎大宮高校出身)

「必然的に生活習慣が整う」
私は寮生活のメリットは「健康的な生活習慣の確立」と「塾との距離」だと思います。梁山泊寮では朝7時起床、夜中11時30分就寝なので、必然的に生活習慣が整います。さらに夜はスマホを回収されるので寮生は絶対にスマホを見て夜更かしすることはありえません。受験生にとって味方でもあり敵でもあるスマホを自分の意志に関係なく律することができるのはメリットだと思います。また梁山泊寮は壺溪塾の真裏にあります。そのためあまり塾で自習する気力が起きなくても、とりあえず午前中だけといったように柔軟に勉強スタイルを体調・気分に応じて調整できます。

入学校 九州大学(工)



木元 光陽さん
(小林高校出身)

「怠けていても引っ張りだしてくれる仲間」
寮で勉強できてよかった点は、まず勉強する時間が整えられていること、勉強しようと思えば何時間でも勉強ができる環境があることだと思います。また、塾生の中に自分を助けてくれる仲間がいることも良いことだと思います。模試の結果が悪くても、自分が怠けていても引っ張りだしてくれる仲間がいるこの環境が素晴らしいと思います。分からないことがあったら、寮生同士で教え合うことが24時間できる信頼が築ける環境も良いと思いました。

入学校 熊本大学(医-医)



本 恭敬さん
(宮崎西高校出身)

「一番大切にすべきものは睡眠」
私が梁山泊寮でよかったと思う点は、仲間たちと共に勉強に励むことができたことです。友人の真剣な姿を日常的に見ることで自分の勉強のモチベーションも上がりましたし、辛い時期でも共に過ごすことでポジティブに乗り越えることができました。受験生が一番大切にすべきものは睡眠だと私は考えます。自分に合った睡眠時間を見つけて良いコンディションを保ち続けることが、日々の勉強の質も本番での力も高めます。浪人の1年間を長く感じるか短く感じるかは人それぞれだと思います。時間が限られていることにより焦ってしまう人も自分を追い詰めすぎることせず、コンスタントにやるべきことをこなし最後まで走り切ってほしいです。

入学校 熊本大学(薬)



黒岩 心唯さん
(宮崎大宮高校出身)

「励ましてくれる人がそばにいる」
壺溪塾の寮では規則正しい生活を保ちながら勉強するのにとてもいい環境です。私は高校生るとき生活リズムが乱れて、勉強もあまりできていませんでしたが、寮に入って生活リズムが整い、夜自習のおかげで勉強時間を確保することができました。また、体調が悪い時や落ち込んでしまった時には寮監さんが話を聞いてくださったり、差し入れをくださったり、親身になって最後まで支えてくれました。寮に入ると寮生どうし励ましあったり、分からないところを聞いたり、勉強の息抜きと一緒に遊びに出かけたりすることができました。寮監さん含め励ましてくれる人がそばにいるのはとても心強かったです。ぜひ、この環境を利用して合格を目指してください。

入学校 宮崎大学(医-医)



中川 琴美さん
(宮崎西高校出身)

「自立精神は学力向上へ繋がる」
寮に入って良かった点を2つに絞ってお伝えします。1つは自己管理能力が身についた点です。今までは何もかも親に頼りっきりの生活でしたが、寮に入ると自分のことは自分でする為、一気に自立した生活に変わりました。日頃の生活や自立精神は学力向上への繋がりがあることを、身をもって感じた次第です。もう1つは、共に努力する仲間がいた点です。自分と勉強型が合う友人ができて、夜の必修自習後、毎日勉強会を行いました。良きライバル良き仲間として互いに心の支えとなり、模試や本番まで常に意欲的に勉強に取り組みました。寮生活により学習面はもちろん、人間的にも大きく成長できます。壺溪塾寮で充実した幻の一年を送ってみてはどうですか？

入学校 東京科学大学(工)



今村 亮太さん
(宮崎西高校出身)

「この一年をこれ以上ない成功体験に」
案外あっという間の一年間でした。毎日の必須習いで一生懸命頑張る仲間の姿に刺激を受けながら頑張れました。身近にいる仲間と励ましあえたのでメンタルが崩れることはありませんでした。先輩へのアドバイスとしては寮生活だからと言って安心はできないということです。怠けようと思えばいくらでも怠れます。規則正しい生活を心がけましょう。正直僕は規則正しく生活できていたとは言えませんし、全力で頑張りましたかと言われるれば甘えた部分が多々あったと思います。どうせ浪人するなら今後の自分のためにこの一年をこれ以上ない成功体験にしましょう。僕みたいな後悔をしないよう合否に関わらず全力で頑張ってください。

入学校 九州大学(医-保健／放射線)



園田 聡真さん
(済々黌高校出身)

「皆で立ち向かっていく雰囲気」
私は一年間寮生活をする事ができて本当に良かったです。寮での生活で良かった点は、まず、時間を効率よく使える所です。無駄な時間ができるだけ小さくなるように生活の時間が決められているため、勉強時間をしっかりと確保することができました。また、夜にはスマホを預けるため、自然にスマホを触る時間が減りました。次に、志の高い友人に恵まれたことです。勉強を教え合ったりして、互いに高め合いながら成長することができました。このように、とても良い環境で私は一年間学習することができて、本当に感謝しています。寮の仲間たちと「勉強しようぜ」と声をかけ合って、みんなで立ち向かっていく雰囲気を作っていけたら良いと思います。

入学校 熊本大学(医-医)



瀧本 あみさん
(甲南高校出身)

「理想的な環境」
壺溪塾の寮は、自分と向き合い、勉強に真剣に取り組みたいと考える人にとって理想的な環境だと思います。寮では、毎晩3時間の自習時間が設けられており、集中して学習に取り組むことができました。同じ目標を持つ仲間と励まし合いながら一緒に勉強することで、前向きに努力を続けることができました。私は一人で勉強すること怠けてしまうことが多かったのですが、寮の規則正しい環境のおかげでしっかりと取り組むことができました。また、寮で作ってくれる食事は栄養バランスが良く、とても美味しかったので、体調を崩すことなく健康的に浪人生活を送ることができました。これから努力を重ねる皆さんを、心から応援しています。

入学校 山口大学(共同獣医)



藤森 健太郎さん
(熊本学園大学付属高校出身)

「同じ目標を持つ仲間が常にそばにいる」
寮生活は、受験勉強に集中し、合格を勝ち取るための理想的な環境でした。毎朝7時に起き、11時半にはスマホを回収し消灯するので、規則正しい生活習慣が身につきました。また栄養バランスの取れた食事を朝と夕に提供してくれるので、体調を崩すことは少なく思う存分勉強に集中することができました。何よりも大きなメリットは、同じ目標を持つ仲間が常にそばにいることです。互いに切磋琢磨し、励まし合い、時には気分転換をすることで、モチベーションを維持し、苦しい浪人生活を乗り越えることができました。寮生活は、単に勉強するだけでなく、友人との交流を通じて精神的な支えや成長の機会を得られる、充実した期間となりました。

入学校 鹿児島大学(歯-歯)



山元 恒輝さん
(八代高校出身)

「寮でできた友達は心の支え」
寮は勉強に集中することができるのみならず、生活習慣を整えられるところでもありました。寮は、壺溪塾の後ろにあり、移動時間を減らすことができます。また、現役のときに制御不能だったスマホも管理されることで、勉強に全力を注ぐことができました。しかも睡眠時間も十分に取れることで、勉強の効率も向上します。浪人期では高校時の友達が大学生となり、精神的にきついですが、寮でできた友達は心の支えとなります。勉強の合間に友達と話したり、一緒に散歩に行ったり、励まし合ったりすることができます。寮母さんや寮監さんも親身になってサポートしてくれました。寮という環境を最大限活用し、合格を勝ち取ってください！



梁山泊寮(男子寮)

〒860-0077 熊本市中央区内坪井町5-30
TEL.096-342-5014

京町女子寮

〒860-0078 熊本市中央区京町1丁目10-8
TEL.096-351-1920



大学予備校

壺溪塾

入寮についてのお問い合わせ・お申し込みは

〒860-0077
熊本市中央区内坪井町5-10
壺溪塾坪井本校 入寮申込係
TEL.096-352-1442



壺溪塾直営寮 — 2026 Kokei Dormitory



2026年度 入寮のご案内

PREP SCHOOL
Kokei

昭和5年の開校以来、壺溪塾は

「単に合格するだけでなく、高い知性と美しい人間像の完成をめざす」という

教育理念を掲げ、塾生指導を行ってまいりました。

直営寮の寮生は、日々の生活の中でこの教育理念を体現することを目標とします。

勉学に集中した寮生活を送るだけでなく、他者への思い遣いを大切にし、心を磨き、

人間性を高めていくことをも目指します。

親元を離れ受験生として意欲に燃えている皆さんが、同じ志を持つ仲間と共に、

一年間安心して勉学に打ち込めるよう、直営寮は全力でサポートしていきます。



KOKEI DORMITORY

梁山泊寮

(男子寮)

梁山泊寮は昭和5年に建設された旧校舎の跡地に建てられています。道路を挟んだ向かい側には横井小楠の生誕地、その先には夏目漱石の旧居などがある閑静な住宅地で、落ち着いて勉強ができる環境です。スタッフは24時間体制で寮生を支援します。



寮山泊寮ってどういう意味？

梁山泊とは「水滸伝」の舞台となった中国山東省にあった沼沢の名が転じ、「優れた人物、有志が集まる所」の意で使われる。大志を抱く壺溪塾寮生が集う場所という意味が込められている。

壺溪塾 直営寮寮監長 外口 一仁 スタッフ一同



鉄骨4階建の建物は、1階が食堂兼自習室と浴場、2階から4階までが個室となっています。各部屋にはベッド、机・椅子、ラック、エアコン備付。個室階には共同のトイレ、洗面所、洗濯機、冷蔵庫があります。



玄関前の花壇はほっとするスポット

安定した生活リズム

充実した学習環境により学習習慣を定着

食事

も徹底管理

温かい食事の提供とおもてなし

時間を味方につける

無理・無駄のないタイムスケジュール

塾と寮のネットワーク

様々な講習会やイベント

寮長⇄寮監長⇄寮監ホットライン

寮監は経験値の高い、職務経験者！

(梁山泊寮)8人の寮監が24時間2交代で勤務

(京町女子寮)寮監夫婦住込み勤務

豊富な貸出用品(すべて無料)

掃除機・アイロン・ポット・布団乾燥機・布団掃除機・LEDライトなど

※洗濯機利用までも無料！

✓壺溪塾.comプロジェクトの使用OK！

(英語学習プログラムを専用PCで学習できます)

✓パソコン利用無料

✓適切な空調・湿度管理

✓栄養バランスを考えたメニュー

✓徹底した衛生管理

✓プロの料理長を含む9名の厨房スタッフのおもてなし

✓帰寮後、すぐに入れるお風呂(梁山泊寮)

✓すぐに食べられる食堂

✓すぐに始められる自主学習

✓入寮式や激励会の開催

✓様々な講習会やイベント

(生活管理や防犯防災等の寮独自の講習会)

✓塾担任との連携



入寮資格

募集定員

男子／48名 女子／22名

申込方法

所定の予約申込書にもれなく記入し、大学受験料入塾願書に添えて、壺溪塾坪井本校窓口へ持参、または郵送してください。寮のみの申込は受け付けません(注1)。FAX・メールでの受付は行っておりません。予約申込書を受理した時点より選考日まで寮室は確保されます。満室となった場合は、希望によりキャンセル待ちとして受け付けます。

入寮者選考

面接を経て厳正な選考の上、入寮許可となります。面接は事前予約制です(注2)。特待生試験日に合わせて実施しますので、募集要項P6「試験日程」を参照し、希望の選考日を選んでください(注3)。入寮希望者多数の場合、県外および遠隔地出身者を優先することがあります(注4)。

入寮手続

入寮許可者には、塾生寮規則集・その他必要書類を即日郵送します。定められた日時(選考日より概ね4日以内)までに、右記入寮手続時納入額を指定口座へ振り込んでください。所定の日までにお振り込みがない時は辞退とみなし、次の方へ部屋を案内します。

入寮期間

●2026年4月1日～2027年2月末日

入寮日は、寮監との打合せにより決定します。

KOKEI DORMITORY

京町女子寮

京町女子寮は、壺溪塾坪井本校より徒歩7分の閑静な住宅地にあります。熊本城や県立美術館よりほど近く、天気の良い日曜日などに、二の丸公園は絶好の散歩コース。住み込みの寮監・寮母が、いつもあたたかく寮生をサポートします。



一括	男子寮	女子寮
入寮手続時納入額	1,260,000円	1,216,000円
入寮金	100,000円	100,000円
施設管理費	210,000円	210,000円
寮費・水道光熱費	950,000円	906,000円

月払	男子寮	女子寮
入寮手続時納入額	396,500円	392,500円
入寮金	100,000円	100,000円
施設管理費	210,000円	210,000円
寮費・水道光熱費	86,500円	82,500円
月額寮費	79,000円	78,000円
水道光熱費	7,500円	4,500円
合計	86,500円	82,500円

※月額寮費および水道光熱費は、前月末までに指定口座へ各自振り込みをお願いします。

※男子寮は朝夕食事代込み・日祝もあります。

※女子寮は朝夕食事代込み・日祝はありません。個室電気代は各自契約になります。